

女性ドライバーを対象に

# 氷上運転講習会

女性ドライバーを対象に「氷上  
運転講習会」が、二月二十二日町  
営リンクにおいて行われました。

これは、冬道、特にアイバンで  
の事故が多発しているため、安全  
運転の技術を学んでもらおうと女

性ドライバー友の会が  
主催して開催されたも  
のです。スラローム運  
転、ダミーを使つての  
研修に参加者の皆さん  
は汗だくでハンドルを  
握っていました。



# まぐべつ

'82 (昭和57年)

362

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111  
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

3

# 生活環境 教育施設 を重点的に充実

昭和五十六年度もあとわずかととなり、健全財政を基本とした、事業計画もすべて終了しました。そこで、今年度行われた主な事業をお知らせいたします。

五十六年度もあと一カ月を残すだけとなりましたが、当初、予定された「町づくり計画」も、すべて終了し、より住みよい町に一步前進しました。

五十六年度「町づくり計画は」「健全な財政運営」を基本として新総合振興計画の四つの柱(①快適で心安らぐ町づくり ②あたたかな心で包む町づくり ③教育の輪を広げる町づくり ④豊かさ活力のある町づくり)を中心に進めてきました。

白人小学校の増改築事業、老人福祉センター、働く婦人の家の建設など、生活環境・教育施設の整備を重点に、町づくりに使われたお金も当初予算の九十八億四千三百七十七万七千円に五億一千万円を追加補正して百三億五千四百五十六万七千円となっています。

そこで、今年度行われた主な事業を皆さんにお知らせいたします。

## 快適で心安らぐ町づくり

### ●道路

幹線道路では、明野六線道路(舗装) 大豊北四号線道路(改良) 相川十九号線道路(改良舗装) など二十路線九千七百六十五坪が整備されました。市街地道路では、あかしゃや団地、春日団地など十一

路線二千八百八坪が整備(改良舗装)され、旭町六条通りに交通安全施設(歩道)百九十六坪設けられました。

# 町へ一歩前進 事業はすべて終了



相川19号道路

### ●公園

継続事業の明野が丘公園と依田公園は、明野が丘公園が遊戯広場(アスレチック)と園路を、依田公園がトイレと園路を造成しました。また、身近かな憩いの場であり、子供たちの遊び場として新緑公園(新緑町団地内) 止若公園(町民会館うら) 札内南三号公園(札内泉町)が造成され、元気を子供た

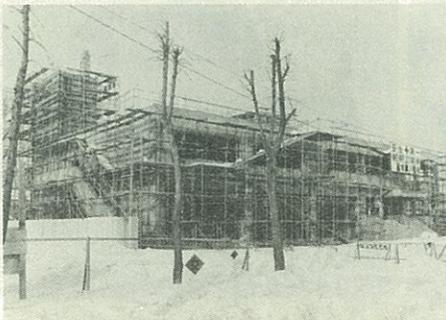
明野が丘公園 (完成したアスレチック)



ちの声でいっぱいです。

### ●消防

老朽化した消防庁舎の増改築事業がスタートしました。総面積千九百平方坪、二階建、二カ年計画で建設され近代的庁舎に生まれかわりますが、五十六年度は庁舎の建設が行われ、内部は五十七年度に行われます。完成は、六月の予定です。



第1期工事終了の消防庁舎

### ●下水道

公共下水道事業は、汚水幹線六

百九十二坪、汚水枝線三千三百五十一坪、水処理棟の建設が行われました。水処理棟は鉄筋コンクリート造りで、総面積は千百九十平方坪です。



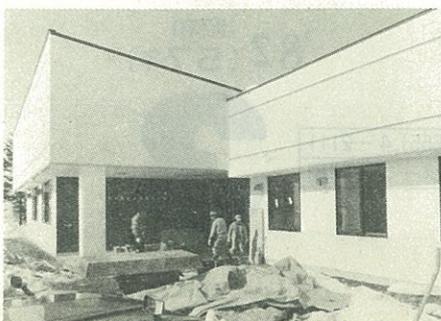
公共下水道(水処理棟)

## あたたかな心で包む町づくり

### ●老人福祉

お年寄りが生きがいを発見し、楽しく充実した生活と活動の中心となる「老人福祉センター」を建設しました。総面積は五百二十平方坪、集會室、図書室、浴室を設け、開館は四月一日の予定です。

老人福祉センター



● 勤労者福祉

婦人活動を中心に地域の多目的集会所として「働く婦人の家」を札内中央町に建設しました。総面積六百八平方メートル、集会室のほか講読室などが設けられ、開館は四月一日の予定です。



働く婦人の家

● 児童福祉

札内保育所の老朽化と札内北地区の人口増加にともない、札内北保育所を建設しました。総面積六百三十七・三二平方メートル、保育室四室、定員九十名で、四月一日開所されます。

札内北保育所



# より住みよい 56年度計画した

豊かさ活力のある町づくり

● 農林業

町では、土地基盤の整備や農村生活環境の整備を進め、安定した



軍岡集落センター

魅力ある農業経営の確立を目指し

事業を進めてきました。

新農業構造改善事業では、軍岡集落センター、種子馬鈴しょ貯蔵庫（軍岡、南勢、大豊の三地区）の建設、農業機械の導入が行われました。

このほか、国営、道営事業が、十四地区で行われ、道路、明渠・暗渠排水、農地造成などが行われました。

教育の輪を広げる町づくり

● 学校教育

五十六年度も校舎の建設に重点がおかれ、白人小学校の増改築、札内北小学校の屋内体育館を建設しました。白人小学校は老朽化が



第1期工事終了の白人小学校

著しく増改築されるもので、総面積四千七百四十四平方メートル、鉄筋コンクリート二階建、普通教室十四室、特別教室三室、二カ年計画で建設されます。五十六年度は、屋内体育館と校舎の一部が建設されました。

また、札内北小学校は、五十六年四月開校し、今年度は屋内体育館と周辺環境整備が行われました。



札内北小学校屋内体育館

● 社会教育

社会教育では、スポーツ活動の推進と町民の皆さんが満足できる学習の場づくりに重点がおかれましました。また、公民館、生活館の整備・充実が行われました。



お年寄りの間で盛んなゲートボール

## 真心を大切に!

幕別町公民館運営審議会は、よい社会生活の慣習を育て、生活の合理化運動、をすすめようと「新生活運動実行細目」を定め、町民の皆さんに協力と実行を呼びかけています。

■ 結婚祝賀会

①祝賀会の会費は2,500円以内に、案内人数はでき

るだけ最少限にしましょう。

②祝賀会の時間は2時間以内に、引出物は一切禁止しましょう。

③記念品は近親者にとどめ、名前の披露はやめましょう。

④案内状には新郎、新婦の経歴を略記しましょう。

⑤祝賀会場は、つとめて町内施設を利用しましょう。

幕別町公民館運営審議会



# 問題を考える

（終）

「ゴミ問題を考える」— 今月は、市街地の主婦百五十人を対象に行



毎日行われるゴミ収集

## 主婦150人を対象にアンケート調査

われた「ゴミアンケート調査」の結果をもとに、ゴミ問題について考えてみたいと思います。

つたり遅かったりしているようです。

問一（ウ） あなたが出したゴミが、収集されずに残されたことがあるか—の問いでは、十七人（八二％）の人が「ある」と答え、その理由が何であるかに対しても、七〇％の人が「わかっていない」と答えています。

ゴミ収集では、燃えるゴミの中に燃えないゴミが混入している場合、収集しないでゴミステーションに残すようにしています。家庭内でのゴミの区別が充分でないようです。

### ★ 問2 50%の人がパックを燃えるゴミの日に出している

問二（ア） 皆さんの家庭ではゴミ入れを二種類（可・不燃物）用意していますか—の問いに九十一人（九六・八％）の人が「用意している」と答えています。

問二（イ） 発泡スチロール、ビニール、パック類はどの日に出していますか—の問いでは図二にあるように、「燃えるゴミの日」と答えた人は四十五人（四七・八％）、「燃えないゴミの日」と答えた人は四十九人（五二・二％）でした。これらゴミは燃えないゴミに分類されますので「燃えるゴミの日」に出している人はまちがっているわけですが、さらに、問二（ア）で、ゴミ入れをほとんどの人が二種類用意していると答えているため家庭内での分別段階でまちがっているといえます。

問二（ウ） 夏期間の残飯類の処理について—の問いに、図三のように六十人（六三・九％）の人が「ゴミとして出している」こ

アンケート調査結果をもとに、皆さんと「ゴミ問題」について考えてみたいと思います。

また、昨年九月号からシリーズで掲載してきました「ゴミ問題を考える」は今回で終了いたします。

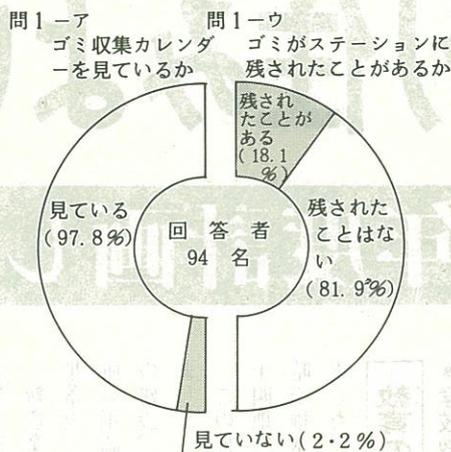
### ★ 問一

#### 守られていない

#### ゴミの区別

問一（ア） ゴミ収集カレンダーを見ているか—の問いに、回答者のほとんどが「見ている」と答え、ゴミ収集カレンダーが生活に定着しているといえます。

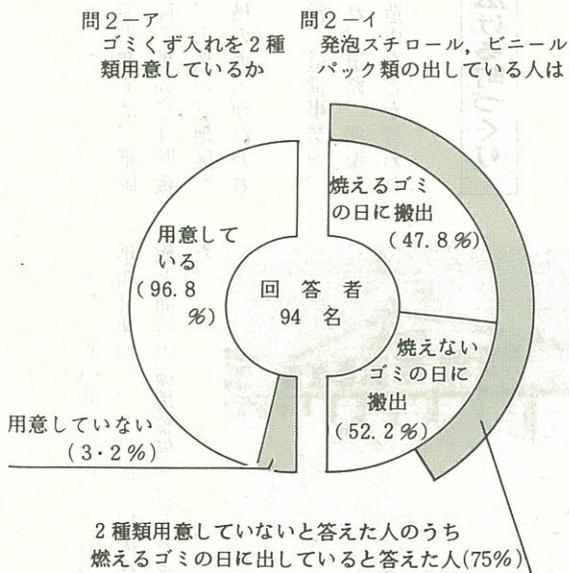
図-1



問一（イ） ゴミ収集車の巡回時

問一（イ）の問いに、十二人（一二・八％）の人が「一定でない」と答え一部地区では、巡回時間が早か

図-2



とがわかりました。

また、問二(カ)で、紙類など燃えるゴミを焼却処理していますか——の問いに、五十八人(六一・七%)の人が「焼却処理していない」と答えています。以上からゴミの自家処理に取り組んでいる人は、全体の三八・三%であることがわかりました。

問二(オ)あなたの近くのゴミステーションは、いつもきれいですか——の問いでは、十六人の人が「きたない」と答えています。さらに、今後どうしたらよいかの問いには、六一・五%の人が「悪い搬出者に役場などから注意してもらおう」と答えています。

一人ひとりの心がけて住みよいマチをつくりたいものです。

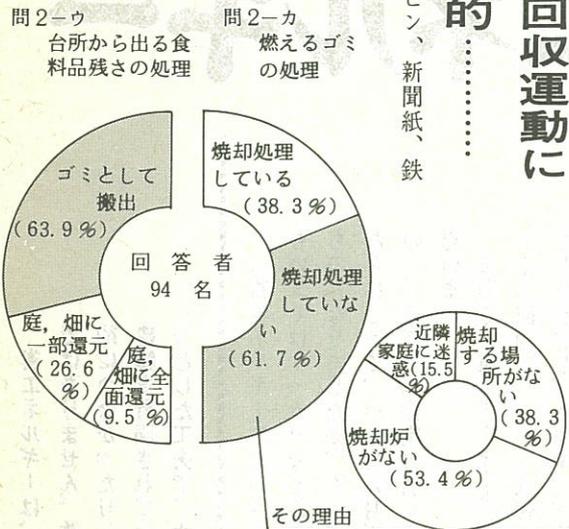
### 問三

## 資源回収運動に

### 積極的

問三(ア) 空ビン、新聞紙、鉄

図-3

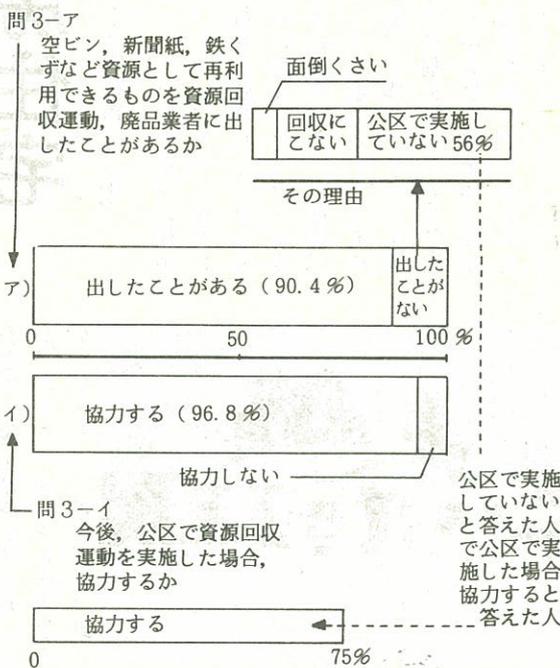


くずなど、再利用できる資源を公区の資源回収運動または、廃品業者に出したことがありますか——の問いに、図一四のように八十五人(九〇・四%)が「出したことがある」と答えています。また、「出したことがない」と答えた人の理由は、「公区で実施していません」からが五六%を占めています。

問三(イ) 今後、公区などで資源回収運動の輪を広げようとする場合、協力しますか——の問いに九十一人(九六・八%)の人が協力すると答えています。

また、問三(ア)で「公区で実施していない」からが理由で「出したことがない」と答えた人のうち、公区などで資源回収運動が行われた場合「協力する」と考えて

図-4



資源回収に取りくむ札内青葉町第1公区

このようなことから、資源回収運動に主婦たちが強い感心を持ち取り組む考えがあることがわかりました。

## 昭和56年 資源回収実践地区

公区名	実践団体	回数	金額	収益金の用途
緑町第1	公区	3	7,432 <sup>円</sup>	婦人部活動資金
緑町第2	"	11	58,195	公区創立記念行事積立
緑町第3	"	7	12,130	公区運営費
緑町第4	"	4	22,000	"
南町第1	婦人部	3	25,323	婦人部活動費
寿町第1	"	2	960	"
寿町第2	公区	1	8,500	公区運営費
旭町第4	婦人部	4	5,375	婦人部活動費
札内共栄町第1	"	3	29,800	"
札内中央町第1	公区	6	38,510	公区積立金
札内中央町第2	"	4	28,409	子供会育成資金
札内中央町第3	"	2	63,196	"
札内あかしゃ町中央	"	2	8,527	"
札内あかしゃ町	婦人部	4	37,731	婦人部活動資金
札内あかしゃ町南2	子供会	1	9,564	子供会運営費
札内泉町	公区	3	18,614	公区発足記念事業積立
札内豊町	子供会	3	38,680	子供会活動資金
札内青葉町第1	公区	3	66,637	公区記念事業積立
札内文京町	"	1	18,440	子供会活動資金
19公区			498,023	

えん人が三八・三%、二十本以内」と答えた人が二七・七%の順になっています。この結果から、町全体を推計しますと、年間、約

三十万本が家庭内で飲まれていることになり、飲食店、公区、職場など家庭外で飲まれている分を推計し加えると、約五十五万本になります。

## 資源回収に十九地区が取り組む

昭和五十六年に資源回収を実践した地区は、十九地区で、回収実績は四十九万八千二百三十三円でした。実践地区は次のとおりです。

住宅建築シーズンを前に考えてみませんか

# 住まいの省エネルギー

省エネルギーは、「節約」や「我慢することばかりではありません。生活の中で、ちよつとした工夫が節約につながったりします。四月の雪どけを前に、住宅建築を計画されている方も思いりますが、ちよつとした工夫で、大きな節約を考えてみませんか。

「省エネルギー」ということは、適な住まいづくりを心掛けること、これが「住まいの省エネ」です。エネルギーを有効に利用できるようにするには、住宅そのものを省エネルギー構造にすること（断熱材の利用をはじめ、建物の形や間取りの工夫など）暖冷房給湯のための設備機器は効率のよいものを使用すること、それに太陽熱などの自然のエネルギーを十分に活用することが基本になります。

家庭での省エネルギーというと、すぐ「節約」したり「我慢」することを連想しがちですが、決してそれらばかりではありません。どのようにしたらエネルギーを有効に利用できるかを考えながら、快

冬暖かく、夏涼しい

## 外断熱床暖房住宅

札内青葉町・丸山雅憲さん宅

### 我が家の省エネ

太陽熱を利用したソーラーシステムなど、「省エネ住宅」への研究開発が進められ、すでに使用されている家庭もめざらしくありませんが、札内青葉町に住む、丸山雅憲さん宅では「外断熱床暖房方式」（CB造外断熱工法住宅）を用いています。

## 住まいの省エネ チェックポイント

ろいろと頭を痛めている方もおられることと思います。そこで、家を新築、または増改築するときの、あるいは、現在の住宅でもできる「住宅の省エネ・ポイント」を皆さんと考えてみたいと思います。

### ●断熱材の利用を

屋根・天井・壁・床に断熱材を入れると夏は熱気の侵入をくい止め、冬は熱が屋外に漏れるのを防ぎます。また、しっかりと断熱化された住宅は、室内の温度差が小さく快適さが増すこと、壁や押入

れの表面の結露の発生を防ぐことができることなど多くの利点があります。

●断熱・気密性の良い窓に  
断熱性の良いサッシにすれば、すき間風を防ぐとともに防音効果も得られます。

### ●太陽熱温水器などの利用を

無尽蔵に存在する太陽熱を利用して、給湯を行うことは、省エネルギーに大きな効果があります。

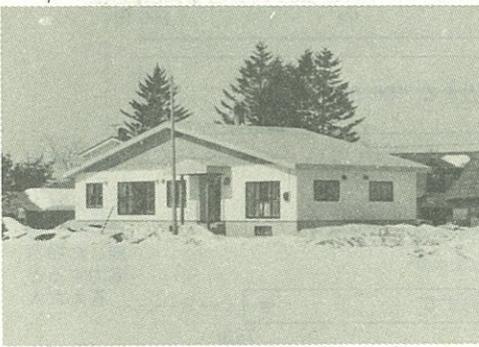
### ●効率の良い設備機器の使用を

暖房、給湯、照明など設備機器は、効率の良い無駄のないものを使いましょう。また、暖冷房機器は、部屋の大きさや用途、使う人に合わせて選びましょう。必要以上に明るい光も、エネルギーの無

が入ってこないそうです。

床を温めるのは、ポイラーで水を温め、湯を循環させるわけですが、ポイラーは何でも燃やすことができます。「寒中でも、朝・夕

丸山雅憲さん宅



と二度、温めるだけで充分。一日の燃料は薪で三束、灯油では五リットルで済んでいます。昼間は暖房を止めても室温は二度しか下がりません。湿度も五〇％と快適です」と話す丸山さん。

間取りも工夫されていて、使用する部屋は、南側に設け日当たりが良く、一種のソーラー住宅といえます。

工費は、床配管などで普通のブロック住宅より一五％程割高になりますが、燃費料を考えると得といえるようです。

一五一・八平方メートルの家全体が暖かく、どの部屋を開けても冷たい風

# 健康カルテ ⑪

## 脳卒中

健康カルテ——今月は「脳卒中」についてです。

**脳** 卒中とは、脳の血流が急に障害を起し、突然手足が動かなくなるとか、口がきけなくなり、急に倒れるような発作をそう呼んでいます。また、脳卒中は、全国死因別で第1位を占めています。

脳卒中の発作は、脳出血や脳<sup>せんそく</sup>栓塞のときにおこります。脳出血が高血圧症、動脈硬化症のある中年以後の人に多いのに対し、脳栓塞は心臓弁膜症、心筋硬塞などの心臓疾患からおこることが多く、若年者にもおこります。

**発** 作の症状は、脳栓塞の場合、前ぶれの症状はありませんが、脳出血では卒中発作をおこす前に、日ごろから視力障害があったり、めまいがすることがあります。

### ●発作の一般的症状

- ①前ぶれとして、頭痛、鼻血、吐きけ、めまいがある。
- ②突然意識を失って倒れ、吐き、まもなく大いびきをたてて眠る。
- ③顔は赤くなり目は充血する
- ④軽症の場合は、数時間で意識を回復するが、重症の場合は、けいれん、高熱、強い発汗がある。

**卒** 中発作をおこしたときは、絶対安静が必要です。医師が到着するまでの処置は、

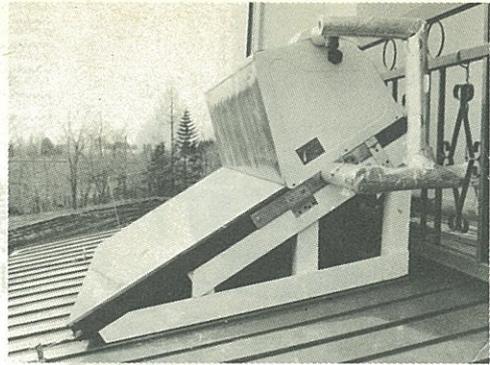
- ①倒れた場所から移動させない。
- ②上半身を圧迫する衣服、バンドなどはゆるめて楽にさせる。
- ③顔が赤いときは頭をやや高くし、頭、首、胸は、冷たいタオルで冷やす。
- ④顔が白いときは、頭を低くし、冷やさないようにする。
- ⑤吐くときは、顔を横に向けて吐かせ、患者に大声をかけたたり体をゆすぶらない。

六件で、百十四人の方がけがをしています。ところが、交通傷害保険の保険金支払い請求は十件となっており、交通傷害保険に加入していない方の事故が多いようです。万一の場合を考え、家族そろって交通傷害保険に加入するようにしましょう。

なお、加入にあたって不明の点や、事故にあったときは、ただちに役場総務部町民課交通防災係にお申し出ください。(☎四一二一一・内線一〇八)

●建物の形は単純に複雑な形にするほど熱の出入りが多くなります。

●間取りに工夫を 居間などよく使う部屋は南側に設けましょう。



●すき間風をシャット・アウト すき間風の入る窓は、市販のクッション・テープですき間をふさぎ、また、カーテンやブラインドを利用して、風の出入りを防ぎましょう。

●木や芝生を植えましょう 植木は、直射日光や風をさえぎり、芝生は熱を吸収して太陽熱の反射を防ぎ、屋内への熱の侵入を少なくする効果があります。



◀窓からのすき間風を防ぐ

万一の交通事故に備える町民交通傷害保険の切りかえ時期となりました。この町民交通傷害保険は

万が一に備え町民交通傷害保険に加入しよう

## 未加入者に多い事故

— 3月1日から受付、保険料は480円 —



交通事故にあったときの心の支えにという町民の皆さんの声によって誕生したものです。発足以来、十年が過ぎましたが、いまでは、すっかり、町民の皆さんの間に定着し、昨年は、二千六百人の方が加入されました。

この町民交通傷害保険は、幕別

1月20日 国道38号線で、わだちハンドルをとられた軽自動車対向車線にとび出し、普通乗用車と正面衝突し、三人が重傷を負った。

町に住んでいる方、または幕別町内の職場や学校へ通勤・通学されている方ならどなたでも加入することができます。

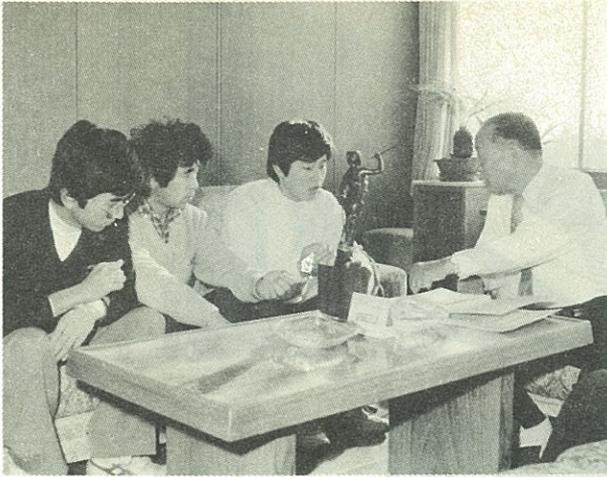
保険期間は、四月一日から一年間で、三月一日から役場総務部町民課交通防災係・札内支所・糠内駒島各出張所で受付けています。

保険料は 一年分一口 四百八十円で途中申込みの場合は 月割(四十円)となります。また 一人二口まで加入することができ ます。

昨年、幕

きた交通事故は、六十

# 農産部門 研究発表 で最優秀賞に



大石町長に受賞報告する代表の皆さん

十勝四日クラブ連絡協議会と十勝支庁主催の十勝支庁管内青年農業者会議が、一月二十六日、浦幌町で開かれ、プロジェクト活動農産部門で、中央青年会軍岡地区(部長・谷地田清)が最優秀賞に選ばれました。

この青年農業者会議は、農業経営の担い手としてより優れた営農方法の研究、実践に取り組んでいる青年が一堂に会し、当面している問題や知識、技術を互いに交換、交流を深めることを目的に開かれているものです。

最優秀賞に選ばれた軍岡地区は、メンバーが十人で、三年間「小豆の畝幅、株間の違いで、生育と収穫量がどうなるか」について調査研究したものを発表しました。

研究結果は、①草丈は、株間の狭いものは競合関係で伸び、株間の広いものは、日光がよくあたる

ので伸びる ②葉数は株間が広がるにつれて増える ③総重量では畝幅六十六センチの方が多い ④子実量では畝幅が六十六センチ、株間二十一センチが有利 ⑤株間が広がるにつれて粒重は重くなる ⑥子実率は、畝幅六十センチの場合、株間二十四センチが良く、畝幅六十六センチの場合は株間三十

センチが有利。また、株間十八センチになると畝幅に関係なく子実率は不利になる。以上の結果から、「畝幅六十センチでは株間二十四センチが良く、全体からみると畝幅六十六センチで株間二十一センチが有利」とまとめています。

入賞報告で大石町長を訪ねた代表の皆さんに大石町長は「今後も、研究を続け、立派な農業経営者になってください」と話していました。

## 統計功労者に

### 知事より感謝状

国勢調査、北海道農業基本調査など、永年、統計調査に功績のあった皆さんに北海道知事から感謝状が贈られ、一月二十八日に開かれた北海道農業基本調査員説明会の席上で、大石町長から伝達されました。感謝状を受けたのは、次の皆さんです。(敬称略)



大石町長から感謝状の伝達

## 公区発足十周年 を祝う

### を祝う

▽五年級・高井光雄(相川) 斎藤利春(弘和) ▽十年級・内野兼佳(猿別) 安彦芳一(日新) 筒渕正夫(新和) 鈴木木良秋(千住)

一 札内共栄町第一公区(岡野仁公区長)で、公区発足十周年を祝って、一月三十一日記念祝賀会が行われました。この祝賀会には、公区の皆さん八十五人が参加、十年間を振り返り楽しい一日でした。

また、祝賀会の余興の中で、十周年記念実行委員会(山田富夫実行委員長)が公区の皆さんに呼びかけ、各家庭の中で眠っている「結婚式の引き出物・お祝いのお返し物」などを持ち寄り、「オークション(競売)」を行い、その益金五万四千五百円を町社会福祉協議会に寄付しました。



長尾社会福祉協議会々長に益金を手渡す岡野公区長

## 野犬掃討実施中!

- 犬の放し飼いはやめましょう。放し飼いは処分します
- 犬を飼う場合は、必ず、2m以内のクサリでつなぐか、オリに入れて飼いましょう
- 畜犬登録や予防注射をしない飼い犬は罰せられます

たばこ消費税は  
暮らしの中に  
生かされています



● たばこは町内で買しましょう。

# 全国中学スケート大会で入賞

千歳で亀井君(糠内中)が、五千円で  
村田君(駒島中)がそれぞれ八位に入賞

第二回全国中学校スケート大会が一月二十九日から三日間、札幌市において行われましたが、幕別町からも、亀井宏治君(糠内中・三年)と村田清志君(駒島中・三年)が出場しました。

競技の結果、千歳で亀井君が1分29秒88の記録で八位に入賞。また、五千円では、村田君が8分21秒03の記録で同じく八位に入賞しました。

スピード・スケート競技では、幕別町から篠原雅人さん(札内中・王子製紙)など、日本を代表する選手が育っており、二人にも「日本を代表する選手に育ってほしい」と期待が寄せられています。

## 寄付者のお名前

### ■町へ……

▽橋本弥信さん(五位)から、父が生前お世話になり、また、葬儀では、故人の遺志で供花を辞退し、いただいた供花料に志を加え三十万円を寄付

### ■町社会福祉協議会へ……

▽国枝裕子さん、寿幸さん(札内青葉町)から三万円  
▽山田三郎さん(糠内)から父が生前お世



大石町長に入賞報告

二人とも三年生で、亀井君は帯広農業高校へ、村田君は帯広白樺高校へと進路を決め、受験勉強に取り組んでいます。  
また、村田君の兄さん・達也君

(帯広白樺高校)もスケート競技をやっており、今年、帯広白樺高校が、全国高校スケート大会で全国優勝を達成したときの中心選手です。兄弟そろっての活躍が期待されます。



## 白鳥飛来!

春を告げる白鳥が、今年も旧途別川に飛来し、翼を休めています

話になりましたと五万円  
▽桜井スミエさん(札内青葉町)から一万円  
▽岡本豊松さん(猿別)から一万円  
▽山田伊造さん(相川)から一万円

### ■老人クラブへ……

▽町老人クラブ連合会へ大和講真隆寺支部から二万円  
▽札内老人クラブへ渡部トメヨさん(札内北町)から三万円  
▽相川南老人クラブへ稲上敏治さん(相川)から一万円  
▽糠内老人クラブへ山田

三郎さん(糠内)から三万円  
▽明野新川長寿会へ久保貢さん(明野)から一万円  
加藤照正さん(明野)から五千元  
坂本博さん(新川)から五千元  
▽駒島老人クラブへ

村田時雄さん(駒島)から三万円  
▽日新老人クラブへ石野常吉さん(上稲志別)から一万五千元  
▽幕別老人クラブへ大和講幕別支部から二万円  
▽旭町、宝町、軍岡老人クラブへ大和講幕別支部からそれぞれ一万円

■その他  
▽笹井茂野さん(錦町)から婦人ボランティア連盟に十万円

## 日成ブロック工業(株)が二百万円を寄付

日成ブロック工業株式会社(緑町・斉藤正美社長)から、同社設立十周年を記念して、町行政に役立ててほしいと二百万円の寄付がありました。



大石町長に手渡す斉藤社長

## 人権擁護委員に

## 早津さん(再任)

地域の皆さんの人権に関する相談活動を行う「人権擁護委員」に法務大臣から早津健次郎さん(錦町)が委嘱されました。早津さんは、昭和五十年十一月から人権擁護委員に委嘱されており、任期は三年です。

# 十勝博

北方圏農林博覧会

■ところ/北海道帯広市 旧帯広空港跡地

'82 7/17(土) - 9/5(日) 51日間

■主催 帯広市 帯広商工会議所 十勝毎日新聞社 ■後援 北海道ほか

## ■前売券あります■

「こんにちは、緑の21世紀」と題して「十勝博」が開かれます。その前売券を次の所で

あつっております。役場一開発商工課、札内支所、糠内駒島各出張所、幕別農協一管理部、各支所窓口、札内農協一管理課、あかしや店舗、途別支所窓口



幕別町ふるさと館  
〒089-05 幕別町字依田384-3 ☎(01555)6-3117  
AM9:30-PM6:00 毎週火曜日休館

### 高橋重美 PART 2 コレクション

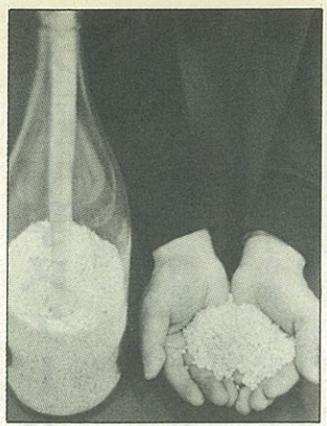
別冊マンガに続く第2弾。パッチの特集  
3月21日から



## 進化する特別展! 5か月連続で 民具作り

予定より遅れてしまいましたが第六回特別展「北の民族・アイヌのくらし」を二月二十一日から開催中です。七月まで。

民族の歴史、そしてそこで使われた道具の数々を展示しています。昔、チセ(家)の炉ばたでアイヌの男たちはマキリ(小刀)ひとつで、さまざまな民具を作ってきました。



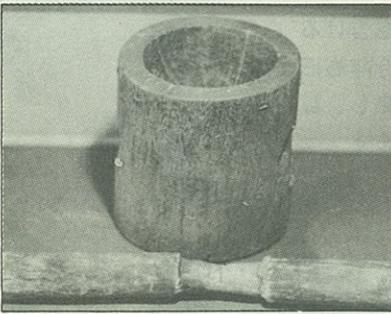
今回の特別展「戦争と暮らし」で二升びんに入れた玄米と米つき棒を展示してあったのを覚えていませんか。約六か月の開催期間中に約一万人が入館しました。ほとんどの人が何回かずつ、ついていたようです。特別展が終わってみると、ごらんの通りみごとに精白されていました。戦前・戦中派そして戦後生まれの人、それぞれどんな思いで米つき棒にふれたのでしょうか——さまざまな思いがこめられた米です。

### なんと一万人が精白した米



大切な器や精白した穀物を入れたシントコ(右)。実から殻をとり精白するのに使った臼(下)。

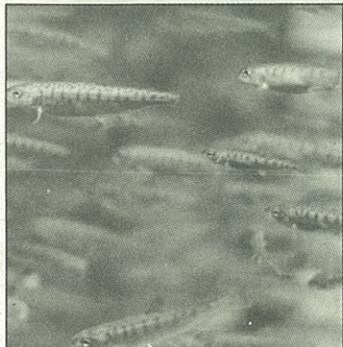
頭をひねりながら挑戦してみよう。(二月七日はチセの模型)。五月からは特別展会場の中央で



また「アイヌ食べ物考」としてカタクリやウバユリの採集、そして試食も計画中。日時は5月号のこのページでお知らせしますのでおたのしみに。

### 展示を一部 模様替え

オープンしてから三年。ふるさと館といえはサケ、そんな声がありです。産卵、ふ化、放流とスナップが撮影したフィルムもたくさんたまりました。四月からサケの生感がよくわかるように常設展示の一部を模様替えします。



## サーモン通信

17

300匹の稚魚が札内中学校の水槽を元気に泳いでいます。大きいのは5センチ、餌の食い負けて発育が遅れているのも4センチ近くまで育ちました。十河先生と、サケ飼育をやりたいと名乗りを上げた4人の生徒がいっしょにがんばっています。「餌を与えすぎない、水の汚れに気をつける——この2つに注意しています」と十河先生。

札内中学校のサケは、ふるさと館で育てている1万匹の稚魚といっしょに4月11日(日)に途別川へ放流する予定です。このほか、相川小・札内南小・札内中の3校でも飼育は順調です。

子供たちに見守られながら育つサケ(右)。ハーマークも消えはじめ、放流を待つふるさと館の稚魚(左上)。

幕別ものかたり「お願いと予告」

ふるさと館ニュースの一角を借りてスタートした「幕別物語」もいつの間にか二十四回に及びました。ふりかえって見ると、よくここまでやってこれたものだと思われながら感心していますが、何と言ってもこれだけ続けて来られたのは、町内の読者の皆さん・資料を提供していただいたり労をいとわらず取材に時間をさいて下さった方々、未熟な郷土史スタッフのわがままを心良く許していただいた町教委のお陰と感謝しております。

さて、次回からは新しいシリーズを企画して行きたいと考えております。題名は「思い出の学校」です。現在ある学校でも校舎はもろろのこと所在地が変わっているような学校、統廃合などでなくなった学校などにまつわるエピソード(名物先生、その頃の教材、学校のまわりの様子、登下校のこと、遊びのこと等)を中心に構成していく予定です。つきましては、ぜひ以上のような内容に当るような話題がありましたら当方へお知らせ下さいませ幸いです。

小助川勝義(郷土史担当)